

市民の声

「かしわら見張り番」に寄せられた市民の方からの声をご紹介します。

オガタ通り商店街に活気が戻る

JR柏原駅(東口)から近鉄堅下駅を結ぶ「オガタ通り商店街」は、この10年の人口の減少、スーパーダイエーの撤退、経営者の交代などにより、客足が遠のいてきた。この事態を打開しようと商店街の有志たちが立ち上がり、活性化に向けて様々な企画を展開してきた。

「認知症サポート」を開催し、日常の商いや生活の場で優しい接客やちょっとした手助けを学んだり、4月からは毎月第三金曜日には商店街を一斉清掃の日と決め、商店街の地図を店名入りで掲載、クーポン券を入れ込んだ折り込みチラシを配布した。

最近ではダイエーの跡地にスーパーヤオヒコがオープンし、それをきっかけとして、町に人が戻ってきた。もちろん核となる商業地域が入ったこともあるが、商店街の人たちの地道な努力が身を結んだのもまちがいない。

行政に頼ることなく、自分たちでできることは自分たちでやってみる。これも新しい市民活動の形であろう。



一番よくわからないのがダチョウを購入したとだ。現在、全てのダチョウは死んでいる。残つて

いるのは立派な檻だけだ。ダチョウの購入費に40万円程費やしていた、これらの費用全て市民の税金である。人里離れたこの場所でのために、飼育しようとしたのか市民に説明してほ

しい。ダチョウを飼うなら専門的知識があるスタッフが、そのスタッフが配置されていない。ダチョウは寿命が80年ほどという。人間と

て、将来的には収穫物を加工して販売し、障がい者のために役立てようという計画があるとも

同じようなものである。ダチョウ専用のエサを十分与え、飼育する環境づくりができていたのか疑問に思う。動物を飼うなら、熟知しものと真剣に責任を持って飼うべきだが、そのあたりをきちんと考えていたのであ

るのか。巷のウワサでは、エサが十分でなく、嘱託職員がお店等にキヤベツなどを集めに回っていたという話が出ていたが、真実でないと思うが、事実であれば、動物愛護団体等からクレームが来るだろう。

飼った方がいいが、世話ができる人がいないからこうなつたのではないのか? こんな無責任な行為は許されないし、税金の無駄遣いである。

なぜ、ダチョウだったのか!? もっと飼いやすい、誰でも世話をしやすい動物もあつたであろうし、なぜ? 何か、裏があるのだろうか? と勘ぐってしまう。

80年生きるはずのダチョウが何故死んだのか? あまりにも可哀そうだと!

602,914	管理用
440,483	支柱杭等
330,250	ボランティア飲料
20,056	だちよう糞
404,486	軽油、ガソリン、コ
146,380	ボランティア障
48,410	バックホー用
17,430	
493,810	

疑問いっぱい! 留所山の維持管理に なんのためにダチョウを飼つたのか!?

竜田古道の里山公園・留所山の維持管理に疑問がいつぱいである。備品購入費に数々の疑問が残るのである。計画性がなく無駄な税金を使っている岡本市政、税金は市民ものである!!

レモンの木も大丈夫か? 維持管理できるのか!?

里山公園には、このほかにレモンの植樹もされている。梅、ブルーベリーなど実のなる木を栽培し

て、将来的には収穫物を加工して販売し、障がい者のために役立てようという計画があるとも

はまうら佳子の 元気が出るコラム

大津のいじめ問題、これはどなたにとっても心が痛かったと思います。いろいろな報道を聞かされた、もうちょっと早くなんとかならなかったのだろうか、やはり思ってしまう。

いじめというのは学校だけでなく、職場やほかの場面でも起こっています。そのためにうつになると聞きます。私も議員になって、柏原市民のみなさんのためにいろいろな頑張ってきましたが、「出る杭は打たれる」というのでしょうか、時には中傷誹謗を浴びたり、実はいろいろつらいこともありました。

そのときに支えになつたのは、やっぱり「はまう

いじめ問題に思う

らさん、頑張って! 応援しているから」という周囲の方の励ましでした。人間って、「見ているよ! 応援しているよ!」という一言で頑張れるものなんですね。そのたびに、「負けてなるもんか! もう一踏ん張りだ!」と自分に言い聞かせてこまできました。励ましの一言、これって大事ですよ。

とはいへ、いつも誰もが、そういう励ましを受けるとは限りません。あのね、つらいときは休めばいいのです。逃げるが勝ち! 自分の身を守るために! ほら、天候が悪ければ、どんなに素晴らしい技術を持った登山家でも、撤退するでしょ? まずは命が最優先なんですよ。



何故、この時期に理事長が変わつたのだろうか?

竜田古道の里山公園の維持管理を、NPO法人柏原ふる里づくりの会に維持管理を委託する必要があるのか疑問に思う。解約でなく、現政では、歳出・歳入には聞いている。嘱託職員を

数名従事させ、その上、何故NPO法人柏原ふる里づくりの会に委託する必要があるのだから? 嘱託職員は、年ごとに増やしている。行政では、歳出・歳入には聞いている。嘱託職員を

NPO法人柏原ふる里づくりの会 理事長に副理事長が...

聞く。梅の木にしても育つには長い年月がかかると。ブルーベリーの実は加工してジャムに、山椒の実を香辛料と岡本市

にこれらに、山椒もどこのにもないと言っている。これらの事業に多くの税金が使われている。税

金の無駄使いである。レモンの木についてもしっかりと育てたいものだが、今後、亀の瀬のレモンの維持管理費どの

原発・放射能について考えよう!

放射能のがれき問題など、原発に関連する市民の方の意見を募集しています。みんなで考えていきましょう。

電話 072-977-5502 FAX 072-977-8782 〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号 info@kashiwara-mihariban.com

NPO法人は、大阪府の管轄であるので支出の使い方等にさほどの厳しさはない。以前から「かしわら見張り番」は、このNPO法人と岡本市政に対して疑問を投げかけていた。今回の百条委員会で真実が白日の下にさらされることを望む。



原川沿い、国道25号線沿いでゴミを拾い続けている市民の方がある。そして、